

オフセット超短焦点 レーザー プロジェクター

開発中の「オフセット超短焦点レーザープロジェクター」を
搭載したコンセプトカーを展示

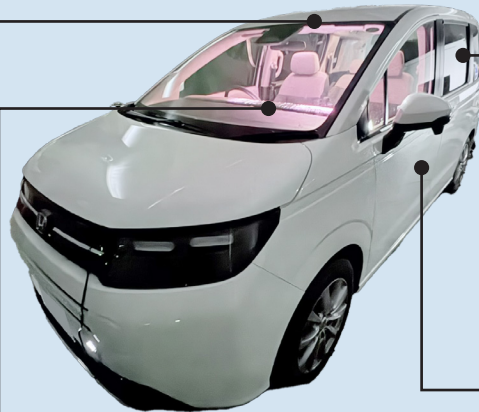
レーザーによる鮮やかな投写によって、車体には映像やサインージを、車室内には乗員ひとりひとりに合った特別な空間を提供できると考えました。それを実現させる日本精機独自の「光ファイバー伝送」「オフセット超短焦点」技術によって乗用車にも搭載できるコンパクトさを達成しています。



オフセット超短焦点レーザープロジェクター

ユースケース例

※実際の投写位置と異なる場合があります



[ベース車両：HONDA FREED AIR]



車載製品
初採用*



オフセット超短焦点技術

近距離かつ斜め投写により
これまでにない高搭載性を実現

光ファイバー伝送技術

光源部と投写部を
分割し小型化を実現

高輝度・高視認性

小型で高輝度を実現
レーザーによる高視認性

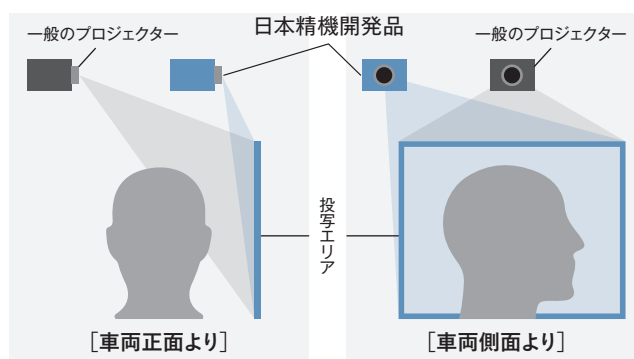
Laser safety対応

光ファイバー断線時は
レーザー出力を停止する安全設計

オフセット超短焦点技術とは？

通常、プロジェクターはレンズ正面に向けて投写をしています。しかし狭い車室内ではパッセンジャーに投写を遮られ、車体に投写するためには空中にプロジェクターを置くことになってしまいます。そのため、私達はX軸Y軸双方にオフセットして投写が出来る超短焦点光学系を開発しました。これにより車室内ではパッセンジャーを避けたピラー部分等に、車外ではドアミラー等にプロジェクターを置くことで適正位置に投写することができます。

オフセット超短焦点投写(概念図)



展示仕様

品名	オフセット超短焦点レーザープロジェクター	搭載体積	投写部:600cc / 光源部:1,800cc
光源	RGBレーザー	映像入力	HDMI
色域	BT.2020 90%以上	電源入力	AC100V/ DC12V
投写範囲	30~90インチ	光ファイバー長	最長5m



会社概要

日本精機は1945年に創業し、今年創業80周年を迎えます。計器、センサーを始めとする車載部品の開発、製造を手掛けており特に乗用車、オートバイのメーターや自動車向けヘッドアップディスプレイ(HUD)で高い世界シェアを頂いています。また空調機器のリモコン、OA機器のコントロールパネルなど暮らしに欠かせない様々な製品や部品の開発、製造にも取り組んでいます。これらの製品、部品の小型軽量化に努めることで省エネルギー化による地球環境課題に対応するとともに、サービス関連事業も充実させることで、製品やサービスを通じた「安心と感動に満ちた世界と未来をつくる」ことを目指しています。

